

北海道浮魚ニュース

平成10(1998)年度24号 (通巻 No.45)

1998年11月4日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-23-2126	Fax : 0162-23-2134
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

◎1998年スルメイカ標識放流再捕結果

本年度、調査船おやしお丸を用いてスルメイカの標識放流を4回行いましたので、その再捕結果をお知らせします。

合計2,171尾のスルメイカを標識放流し、現在までに39尾の再捕報告がありました。再捕率は1.8%でした(表1)。

再捕報告をくださった漁業者・漁協関係者・水産指導所の方々、有り難うございました。

6月30日に積丹半島の北側で放流した522尾から14尾が再捕されました(再捕率2.7%)。主に7~9月に積丹半島周辺で再捕されましたが、武蔵堆の北方や道北海域にまで北上した個体もありました(図1)。

8月28日に武蔵堆の西方で放流した600尾から15尾が再捕されました(再捕率2.5%)。主に9~10月に日本海中央部で再捕されました。これはスルメイカが放流点から南西方向の産卵場へ南下回遊していることを示しています(図2)。

8月29日に礼文島の西方で放流した549尾から4尾が再捕されました(再捕率0.7%)。9月に礼文島周辺ならびに日本海中央部で再捕されました(図3)。

8月30日に利尻島の南西で放流した500尾から6尾が再捕されました(再捕率1.2%)。9月には利尻島から積丹半島にかけて、10月には稚内沖と能登半島の北側で再捕されました(図4)。

今後も標識イカが再捕される可能性がありますので、再捕された方は最寄りの水産試験場までお知らせ下さい。

表1 スルメイカの標識再捕結果(1998年)

放流日	放流尾数	再捕尾数	再捕率
6月30日	522	14	2.7%
8月28日	600	15	2.5%
8月29日	549	4	0.7%
8月30日	500	6	1.2%
合計	2,171	39	1.8%

(文責：中央水試資源管理部)



図1 6月30日に放流されたスルメイカの再捕位置

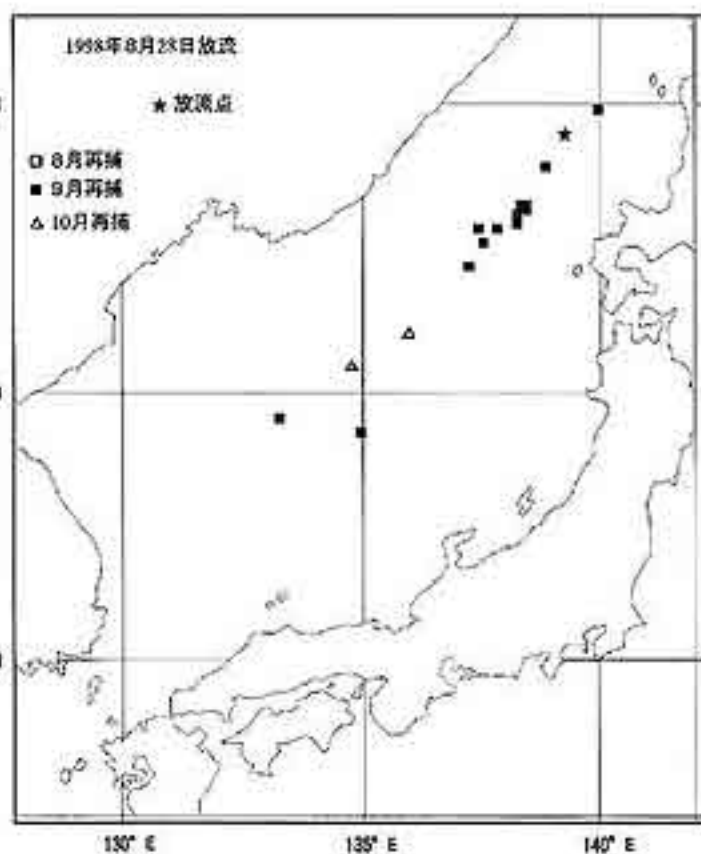


図2 8月28日に放流されたスルメイカの再捕位置

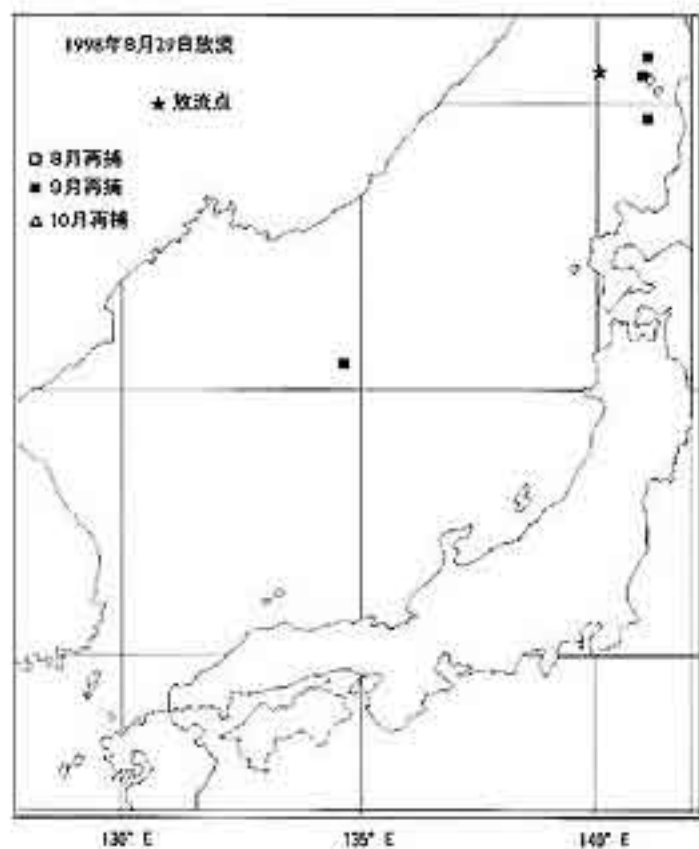


図3 8月29日に放流されたスルメイカの再捕位置

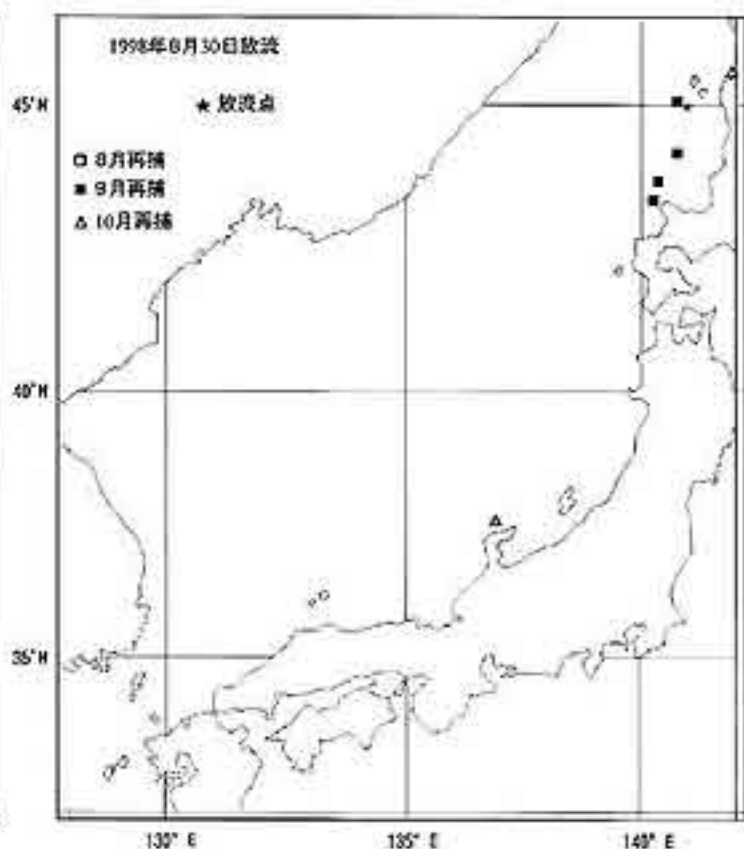


図4 8月30日に放流されたスルメイカの再捕位置